



KEIZAI ニュース

千葉経済大学附属高等学校

No. 62

2009年11月9日

【発行】千葉経済大学附属高等学校 入試広報センター

〒263-8585 千葉市稲毛区轟町 4-3-30 TEL. 043-251-7221(代)

FAX. 043-284-0124

http://www.cku-h.ed.jp/

ひたすらに、生徒は学ぶ



M・Cさん

普通科3年
大網白里町立
増穂中出身

私は、自分の好きな得意科目を伸ばすよう努力し、そうすることによってモチベーションを高く上げます。必然的に不得意科目を勉強するようになります。ですから不得意科目に苦手意識を持たず、勇気を持って立ち向かうことが一番大事だと思っています。

確かに、個人の努力は大事だと思います。私のクラスの一人ひとりが目標に向かって勉強に取り組む一生懸命な姿を見ることによって、自分も意欲を高めることができました。何よりも担任の先生をはじめとする多くの先生方や、自分の家族の支えがあってこそ今まで頑張ってきたと思っています。

私は今後理数系の学部に進学したいと思っています。そしてその学部で、人のために役立つ研究をしていけたらと思っています。



I・Aさん

商業科3年
船橋市立宮本中出身

商業科ではいろいろな資格取得ができることを知り、私もぜひチャレンジしようと思って本校に進学しました。商業科の専門科目である「簿記」「情報処理」「ビジネス基礎」等を学んでいくうちに、「簿記」に興味を持つようになり、大学も商学部に進むことを決めました。高校3年間で将来の目標を見つけ、全商検定電卓1級をはじめたくさんの資格を取得することができたので、大変良かったと思います。

皆さんも何か一つやりたいことを見つけ、努力してみてください。高校生活が充実してくると思います。大学では商学部で専門分野を深めるとともに、税理士または公認会計士をめざしてチャレンジしたいと考えています。高校で見つけた目標達成をめざして頑張ります。



O・S君

情報処理科3年
千葉市立
幸町第二中出身

専門科目で学んだITと経済に関する知識、室長経験の陰で気付いた自分の未熟さと団結の難しさ、S&D同好会を通して知った努力の大切さと仲間の尊さ、この3年間で学んだことは数多くあり、そのどれもが本校に入学したからこそ得ることのできたものでした。

入学当時には、各々違う500通りの期待、不安、不満などの思いがあったでしょうが、卒業も間近となった3年後の今、私たちに共通の思いが生まれたのではないのでしょうか。「本校に入学して良かった」と。来年には皆別々の道に進みます。進学や就職等それぞれ舞台は違っても、それぞれが本校で学んだ多くのことを自信とし、新たな環境の中でも胸を張って生活していけると思います。

私は大学の法学部に進みます。新たな分野に足を踏み入れることに不安はありません。それは本校で、専門科目を3年間しっかり勉強できたからです。数え切れない思い出をくれた本校で学んだことを誇りに思います。

☆校内作文コンクール☆

平成21年度の第31回作文コンクールの表彰が11月5日に行われました。今年度の最優秀賞に輝いたのは、情報処理科2年のS・Nさん(千葉市立緑が丘中出身)の『今を楽しむ』です。

Sさんは、『出会いというのは突然です。夏休み前に、私は学校のHPでこの言葉に出会いました。それを見た時、「今年はこの言葉を作文の題材にしよう」と決めました。特に児童文学者の石井桃子さんの「人は日々成長していくものです」という言葉に魅力を感じました。将来の自分を作るのは今、それ以前の自分。だからこそ今を思いっきり楽しんで学んで、充実した経験をたくさんしていくことが大切なのだと思います。』と語ってくれました。



◆優秀賞◆

- 普通科1年 市原茜音さん(茂原市立南中出身)「理想とする社会人」
- 普通科2年 寺田知恵さん(山武市立成東東中出身)「母」
- 普通科2年 佐藤光さん(八千代市立八千代台西中出身)「私の読書体験」
- 情報処理科3年 鎌形夏光さん(匝瑳市立野栄中出身)「無題」
- 情報処理科3年 八武崎碧さん(山武市立山武中出身)「どんな社会人を目指すか」

本校は「がんばるあなた」を応援します

◆受験を希望している皆様へ◆

受験生の皆様、本校は皆様の力が思う存分に発揮できるように、学習環境を十分に整えて、お待ちしております。もう本校の施設はご覧になりましたか。「こんな学校で学びたい」と思っただけだと自負しています。今後の入試説明会にもぜひお越しください。

第1回『生徒・保護者対象入試説明会』(11月7日)には、500名を超える大勢の方の参加をいただきました。

●●本校の入試は次のように行われます●●

- ① 入学定員は560名(普通科360名、商業科120名、情報処理科80名)です。
- ② 入学定員の7割程度を前期選抜試験で決定します。
- ③ 前期選抜試験の推薦基準は明確に定めています。基準に達していて、校長先生のご推薦がある生徒は、そのことを最大限に尊重して対応します。基準は担任の先生にお伝えしていますので、お確かめください。
- ④ 本校に入学したいという強い希望がある場合、基準を若干下回っていても、その意思を尊重して対応します。中学校を通してご相談ください。特に皆勤・日頃の学校生活・英語検定などの資格・明るくさわやかな人柄などを評価します。
- ⑤ 前期選抜試験はグループ面接(7分程度)と作文(問題文を読んだ感想400字から600字)です。過去4年間の問題を中学校にお渡ししてありますので、参考にしてください。
- ⑥ 後期選抜試験には基準値は定めていません。国語・数学・英語の学力テストの得点で合格になります。ふるって受験してください。
- ⑦ 後期選抜試験でも面接を行います。人柄のよい、ひたむきな生徒に入学してもらうためです。
- ⑧ ご家庭(父母・祖父母・兄姉・おじおば・いとこ)に本学園の同窓生や在校生がいる場合には、優遇措置があります。

※ インフルエンザに感染して受験できなくなった場合は、追試験を実施しますのでご安心ください。

生徒・保護者対象入試説明会

- 11月14日(土) 8:30受付、9:00開始です。予約・上履きは不要です。お気軽にご来校下さい。
- 11月21日(土)
- 11月28日(土)
- 12月 5日(土)



(11月7日)

入試個別相談

12月21日(月)までの平日の午後3時から5時まで行っています。何でもご相談ください。

第34回 父母の会研修会 (10月31日)

「鴨川の火成岩・変成岩と人々の暮らし、そして棚田」

四半世紀以上に渡って県内の自然・歴史・文化を研修する父母の会の活動は他校にない本校独自の伝統ある文化的行事の一つです。本年は地質学上貴重な枕状溶岩を観察し、海岸では珍しい岩石を採集しました。

また、大山千枚田では棚田の景観とオーナー制度を学び、釈迦寺では海中から引き上げられたお釈迦様の体内より出土したお経4巻を拝見しました。保護者と教職員が共に学び合うことで、生徒への教育力は確実に高まっています。



大山千枚田にて校長先生と保護者